

平成29年度事業計画書（抜粋）

平成29年度の事業計画を次の4事業に大別して示す。

1. 刊行事業
2. 講演・講習会等の事業
3. 会議・委員会・部会活動推進事業
4. その他の事業（開発・研究関連等）

1. 刊行事業

会員に愛読されている協会誌をはじめ以下の刊行事業を予定している。

- (1) 協会誌「強化プラスチック」(Vol.63, No.4～Vol.64, No.3)
- (2) 62nd FRP CON-EX 2017 講演要旨集
- (3) 刊行物、記念出版物の販売
- (4) 出版物の増刷、改訂、協会パンフレットの改訂

2. 講演・講習会等の事業

- (1) 講演・講習会・セミナー等
【当協会が主催するもの】

① 62nd FRP CON-EX 2017(第62回 FRP 総合講演会・展示会)

実行委員会構成

順不同敬称略

主催者団体責任者 強化プラスチック協会会長 邊 吾一

総合実行委員長 福島大学理事・副学長 小沢喜仁

展示部門委員長 日東紡績(株)グラスファイバー事業部門執行役部門長 五十嵐和彦

講演部門委員長 福島県ハイテクプラザ 副所長 菅原康則

実行委員

小助川博之（東北大学）、伊藤浩志（山形大学）、廣瀬宏一（岩手大学）、菊地時雄（福島県ハイテクプラザ）、後藤喜一（山形県工業技術センター）、野辺理恵（秋田県産技術センター）、推野敦子（宮城県産業技術総合センター）、富樫和弘（福島県産業振興センター）、藤原 聡（福島県産業振興センター）、氏家 誠（福島市コンベンション推進室）、松川行二（福島市コンベンション推進室）、山田誠司（日東紡績）、相澤恒史（日東紡績）、漆崎 優（日東紡績）、佐々木遼（日東紡績）、蒔苗太一（オーウェンス コング ジャパン）、市川鉄雄（昭和電工）、高木宏之（DIC マテリアル）、古屋秀樹（日本ユピカ）、柏女浄照（AGC マテックス）、山下節三（エフ・アール・ピー・サービス）、佐藤明彦（積水アキュシステム）、橋本博文（三菱ケミカルインフラテック）、山村亮輔（FOCUS）

山中 豊、大熊秀夫、角田 敦（協会事務局）

会 期 平成29年11月13日(月)、14日(火)

会 場 コラッセふくしま(福島県三河南町1番10号、JR福島駅西口より徒歩3分)

技術交流会 平成29年11月13日(月) 夕刻 場所未定

② FRP 懇話会

第11回

期 日：平成29年5月12日(金) 17:00～19:00

会 場：強化プラスチック協会 会議室

話題提供者：(株)羽生田鉄工所 代表取締役 羽生田豪太 氏
題 目：「羽生田鉄工所の紹介と強化プラスチック協会への期待」

③ 第30回 FRP 入門講習会

期 日：平成29年6月28日(水)
会 場：日本大学理工学部 駿河台校舎
企画実施 情報・編集委員会

【当協会が共催/後援/協賛するもの】関連 学協会 の依頼に対応

関西 FRP フォーラム【FRP 入門講習会】
(関西 FRP フォーラム、強化プラスチック協会共催)
期 日 平成29年9月14日(木)
会 場 大阪産業技術研究所 森之宮センター

他に後援/協賛を予定

3. 会議・委員会・部会活動推進事業

各々の組織内コミュニケーションを十分語りつつ、変革期にある産業界において斯業界ニーズにマッチした活動を展開する。

< 3-1 会議関係 >

運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様 業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

< 3-2 委員会関係 >

(1) 情報・編集委員会

毎月1回開催して協会誌の編集、掲載記事候補、特集の企画、協会誌読後感想、「まちかど F+R+P」他を審議・推進する。新たに化学系のやさしいシリーズ解説を計画。情報発信方法にも注力することとし、協会ホームページをより情報発信しやすく、会員様他がわかりやすく利用しやすくするためにリニューアルする。
電子メールでの会員の声の投稿先、「まちかど F+R+P」の投稿先を継続的にご案内し、また、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、前述の会員の声と共に協会誌の「会員・読者の欄」で公開することにより、会員とのコミュニケーションを密にして活性化に繋げることを継続実施する。

(2) 国際交流委員会

・海外展示会・講演会(視察)：

THE FUTURE OF Composites in Construction (6月20日～22日 シカゴ)、CCE 2017 (9月6日～8日 上海)、CAMX 2017 (9月11日～14日 オーランド)、JEC Asia 2017 (11月1日～3日 ソウル)、JEC Automotive Forums 2017 (11月15日～16日 ノックスビル)、JEC World 2018 (3月6日～8日 パリ)

・協会誌：前項海外視察の各報告の掲載(5回程度/年)

・62nd FRP CON-EX 2017 (11月13日～14日 コラッセふくしま)

国際交流員会委員会報告

(3) 技能振興・検定委員会

必要に応じて委員会厚生員各位と連携を図って各事項に対応する。

・外国人技能研修制度の改定

随時 3 級、随時 2 級 (FRP 技能検定) が、初めて実施される。それに伴う厚生労働省 (法務省、外務省)、中央職業能力開発協会への連携と対応を実施する。

- ・ FRP 技能検定制度の活用を各省庁に働きかける。
- ・ FRP 成形技能テキストの改定を進める。
- ・ FRP 成形に対する問合せ。

(4) FRP性能評価委員会

多方面からの依頼に基づき FRP 材料の機械的特性等を性能評価委員会委員各位の協力を得て対処、その評価結果を委員会にてオーソライズし協会 会長名で回答処理 (報告書を発行) する。今後も引続き事前相談等に適宜対応する。

(5) 規格標準等関係委員会

JIS K 7012 は、2013 年に改定された。

附属書 A (規定) 貯槽本体、ノズル及びマンホールの接合部積層厚さ及び積層長さの計算方法を協会規格化などに向けて検討している。

(6) 環境委員会

- ・ 諸官庁 (特に厚生労働省。消防庁、経済産業省、環境省 他 地方自治体関連部署からの問い合わせ他) に対応
- ・ 上記 調査結果や諸対応事項について会員各位に会誌、HP 等で広報

(7) 表彰委員会

情報編集委員会の協力を得て引続き会誌等により広報、各候補者推薦の広く募ると同時に、推薦のあった各賞候補者につき審議を行う。

< 3-3 部会関係 >

(1) 原料部会

FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動を積極的に協力/支援する。

- ① 国内「不飽和ポリエステル樹脂 (ビニルエステル樹脂含む)・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の作成と定期広報
- ② 62nd FRP CON-EX 2017 において需要動向報告
- ③ JEC World 2017 視察参加の部会報告 (協会誌 6 月号を予定) と JEC World 2018 参加
- ④ 有力材料会社と新規技術シーズの発掘の取り組みと実証

(2) 耐食部会

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 第 1 回耐食部会・第 16 回劣化診断分科会合同開催 | 6 月 15 日 (東京) |
| 第 17 回劣化診断分科会 | 8 月 17 日 (尼崎) |
| 第 2 回耐食部会・岩尾磁器工業 (九州) を予定 | 10 月又は 11 月 |
| 第 3 回耐食部会 | 12 月 21 日 (東京) |
| 第 4 回耐食部会、第 18 回劣化診断分科会合同開催 | 2 月 15 日 |

(3) 給水タンク部会

- ・ 給水タンクの市場動向掌握
- ・ 水槽診断士制度の見直し/技術的協力
- ・ FRP 水槽の役割/重要性を PR (広報活動)
- ・ 関連各団体の研究会/委員会/講演会への参画

(4) タンクローリー部会

休会中だが、会員相互の情報交換は継続実施。

(5) FRP引抜成形工業部会

現在部会員 1 社のため休会中。必要に応じて活動予定。

(6) 橋梁開発専門委員会準備委員会

橋梁や塩害により損傷をうけた道路床版更新などの土木用途への FRP 応用展開を図るため活動を開始する。

(7) 廃FRPの再資源化

①台湾視察団対応

平成 29 年 5 月 15 日、16 日と台湾 FRP 協会を窓口とする CFRP 再資源化の調査団（11 名）をジャパンフジリサイクルセンター、高砂工業㈱に案内

②最新 材料の再資源化技術事典への投稿 ㈱産業技術サービスセンター発行

4. その他の事業（開発・研究関連等）

(1) 熱可塑性複合材料研究会

第 8 回 平成 29 年 4 月 14 日（金）東大阪市立産業技術支援センター

(2) 炭素繊維成形・利用研究会

第 5 回 平成 29 年 7 月 7 日（金）開催予定 調布航空宇宙センター飛行場分室

(3) FRP成形・利用に関する合同研究会

第 2 回 平成 30 年 2 月の予定、開催場所未定